



常陸太田アグリ通信

平成30年11月5日

茨城県県北農林事務所経営・普及部門(常陸太田地域農業改良普及センター)

茨城をたべよう収穫祭に花貫フルーツほおずき倶楽部が出店

花貫フルーツほおずき倶楽部は、10/13～14に常陸太田市山吹運動公園で開催された「茨城をたべよう収穫祭」に出店し、高萩市特産の花貫フルーツほおずきの販売を行いました。

両日とも、早朝より多くの来場者で賑わい、準備した62パックの生のほおずきは午前中に完売となりました。生ほおずきの他に「ほおずきジャム」と「アイス」の販売も行われ、特に「ほおずきアイス」は、子供や若いカップルに人気がありよく売れていました。

普及センターでは、今後とも講習会や販売活動支援等を通して、高品質な花貫フルーツほおずきが生産・販売できるよう支援活動を展開していきます。



日立市中里地区の観光果樹園PRのためのリンゴ無償配布を実施 (JA常陸里川西特産果樹生産部会)

10月10日(水), JR日立駅・駅前において、「JA常陸里川西特産果樹生産部会」(部会員数22名)では、観光果樹園のPRを目的としたリンゴの無償配布を実施しました。

中里地区では、リンゴ、ブドウ、ブルーベリー、カキ、ユズなどが栽培され、直売やもぎ取り体験などの観光果樹園が営まれています。しかし、日立市民でも知らない人が多いことから地元にも広く知ってもらい、さらに訪れてもらうことを目的に一昨年からは実施しています。

当日は、「秋映」などの中生種5品種500個を準備し、また「日立中里フルーツ街道」のロゴ入りのリンゴ箱やのぼりなどで会場をディスプレイし、配布を実施しました。リンゴを受け取った人の中には、中里地区が市内にあり、観光果樹園のあることを知らない人もおり、中里地区に観光果樹園があることをPRする絶好の機会になりました。



第15回「太田の農産物でおいしい給食」 小学生絵画コンクール審査会を開催

10月11日(木)、常陸太田合同庁舎大会議室において、常陸太田4Hクラブが「太田の農産物でおいしい給食」小学生絵画コンクールの審査会を開催しました。これは、市内の小学校5、6年生へ地域農産物に対する知識を深め、食の大切さについて再認識してもらうことを目的としています。

審査は、中学校の美術教諭や、経営・普及部門長、クラブ員など11名の審査員が行い、応募総数122点の中から、最優秀賞、優秀賞、優良賞、クラブ賞の計15点の作品を選出しました。

審査員からは、「小学生の表現の豊かさを感じた。」「これまでに給食として提供したことのあるメニューもあり、給食を身近に感じていることが分かった。」といった感想がありました。



食育体験交流会を開催

10月25日(木)、道の駅ひたちおおた～黄門の郷～の体験交流室にて、食育体験交流会が開催されました。

これは、管内の生産者が講師となり、一般消費者と交流することで地産地消の推進や地域農業の活性化につなげようと、昨年より実施しています。

今回は、常陸太田市里川地区在来の「里川カボチャ」を使って、「簡単カボチャもち」と「里川カボチャの甘煮」の調理体験を行いました。調理体験後は、作成したものの他に、講師が事前に試作した「簡単カボチャプリン」や「里川カボチャサンド」なども試食しながら、意見交換をしました。

受講生からは、「大変勉強になった。今後もこういった講座があればぜひ参加したい。」といった感想や、「摘み取り体験と併せて、トマト料理の講座を開催してはどうか。」といった意見もいただくことができました。



県北農林事務所Twitterアカウントを開設しました ♥

県北地域の農業・農村振興に関することや農業関連のイベント情報も発信しておりますので是非ご覧下さい。【URL】<https://twitter.com/ibahokunourin>

